PAT-NO:

JP363222680A

DOCUMENT-IDENTIFIER:

JP 63222680 A

TITLE:

INJECTION NEEDLE APPARATUS FOR

MICROMANIPULATION

PUBN-DATE:

September 16, 1988

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

NIWA, TAKESHI

KASHIWAGI, KATSUYA

MINAMI, SHIGEO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY

SHIMADZU CORP N/A MINAMI SHIGEO N/A

APPL-NO:

JP62055962

APPL-DATE:

March 11, 1987

INT-CL (IPC): C12M001/00, B25J007/00

US-CL-CURRENT: 435/285.1

## ABSTRACT:

PURPOSE: To enable quick injection of chemicals, etc., into a treating

object such as cell with simple operation at a low cost, using single micromanipulator, by inserting and fixing a micro-injection needle coaxially

into an inner space of a micro-pipette and connecting the bases of the pipette

and the needle to different pressure sources.

CONSTITUTION: A micro-injection needle 2 is inserted into an inner space of

a micro-pipette 1 for  $\underline{sucking}$  and fixing a treating object W such as cell. The

needle 2 is aligned nearly coaxially to the pipette 1 and the tip end

of the

needle 2 is positioned near the tip end of the micro-pipette 1. The needle 2

is fixed by using plural guides 8. The base of the micro-pipette 1 is

connected to the 1st pressure regulator 3 and the base of the micro-injector 2

is connected to the 2nd pressure regulator 4 interposing a pressuresealing

part 5. The pressure in the micro-pipette 1 is lowered below atmospheric

pressure by the 1st pressure regulator 3 to effect the  $\underline{\text{suction}}$  and fixing of a

treating object  $\ensuremath{\mathtt{W}}$  such as cell at the tip end of the pipette and, at the same

time, the tip end of the micro-injection needle 2 is thrust into the treating

object W. The inside of the injection needle is pressurized with the 2nd

pressure regulator 4 to inject the chemicals in the injection needle 2 into the

treating object.

COPYRIGHT: (C) 1988, JPO& Japio

## 19 日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

## ⑩ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭63-222680

@Int\_Cl\_4

識別記号

庁内整理番号

匈公開 昭和63年(1988)9月16日

C 12 M 1/00 B 25 J 7/00 A-8717-4B 8611-3F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

49発明の名称

マイクロマニピユレーション用注射針装置

②特 願 昭62-55962

砂出 願 昭62(1987)3月11日

70発 明 者 丹 羽

京都府京都市中京区西ノ京桑原町1番地 株式会社島津製 猛

四発

作所三条工場内

明 者 柏 木 克 也 京都府京都市中京区西ノ京桑原町1番地 株式会社島津製

作所三条工場内

者 南 茂 ·夫 兵庫県芦屋市津知町7番6号

株式会社島津製作所 ①出 顖 人

京都府京都市中京区西ノ京桑原町1番地

夫 砂出 顖 人 南 茂

兵庫県芦屋市津知町7番6号

20代 理 弁理士 西田 新

#### 細密

1. 発明の名称

マイクロマニピュレーション用注射針装置

## 2. 特許請求の範囲

細胞等の被処理物を吸引固定するための微小ピ ペットの内部空間に、この微小ピペットと略同軸 上に微小注射針がその先端を当該微小ピペットの 先端近傍に位置するよう揮入固定され、かつ、上 記微小ピペットおよび上記微小注射針の基部はそ れぞれ別個の圧力源に接続し得るよう構成されて なる、マイクロマニピュレーション用注射針装置。

# 3. 発明の詳細な説明

#### <産業上の利用分野>

本発明は、例えば遺伝子操作を行うべく、細胞 等の内部にDNA等の薬液を注入するための、マ イクロマニピュレーション用注射針装置に関する。 <従来の技術>

細胞等の内部に薬液等を注入する場合、従来、 2台のマイクロマニピュレータを用意し、その一 方には微小ピペットを装着するとともに、他方に' は微小針(注射針)を装着して、顕微鏡視野下等 においてまず一方のマイクロマニピュレータを提 作して微小ピペットにより細胞等を吸引固定した 後、他方のマイクロマニピュレータを操作して、 微小針を固定された細胞等内に刺入し、薬液を注 入する方法が探られていた。

#### <発明が解決しようとする問題点>

以上の従来の方法によれば、微小ピペットと微 小針が別個のマイクロマニピュレータに装着され ているので、互いに独立的に動作し、操作が繁雑 となって処理速度が遅くなり、また、2台のマイ クロマニピュレータを必要とするので、高価とな るという問題があった。

本発明は上記に鑑みてなされたもので、1台の マイクロマニピュレータで細胞等の内部に薬液等 を注入することができ、操作が簡略化されるとと もにコスト的に有利となる、マイクロマニピュレ - ション用注射針装置の提供を目的としている。 <問題点を解決するための手段>

上記の目的を達成するための構成を、実施例に









